

# 転換期の日本社会と食料・農業・農村基本計画 2015

後援 東京大学大学院農学生命科学研究科  
日時 平成27年11月7日(土)13時00分～17時30分  
場所 東京大学農学部弥生講堂

## <趣旨>

本格的な人口減少と超高齢の社会を迎えて、この国の食料・農業・農村はいかにあるべきか。3月31日に閣議決定された食料・農業・農村基本計画を素材として、参会者の皆さんとともに考えてみたい。基本計画のエッセンスを共有するとともに、密接に関係する「農林水産研究基本計画」についても理解を深める機会としたい。言うまでもなく、食料・農業・農村のあり方は国民全体のテーマである。今回のシンポジウムでは、農業経営者を代表して日本農業法人協会副会長の近藤一海さんにご登壇いただくとともに、生活協同組合コープみらい執行役員の山内明子さんに消費者の立場から、そして『コメをやめる勇気』などの著書で知られる日経新聞編集委員の吉田忠則さんに報道の立場から、ご講演いただくことにする。

## <プログラム>

- 13:00～13:05 開会あいさつ 日本農学アカデミー会長 古在 豊樹
- 13:05～13:20 基本計画とは何か—解説とシンポジウムの狙い  
名古屋大学大学院生命農学研究科教授 生源寺 眞一
- 13:20～14:00 基調講演：新基本計画の枠組みと課題  
—食料の安定供給の確保と農業の持続的な発展に関する施策を中心に  
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 中嶋 康博
- 14:00～14:30 新研究基本計画と農林水産研究の方向  
農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官 中谷 誠
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～15:10 農業経営の現場から基本計画に思う  
(公社)日本農業法人協会副会長 近藤 一海
- 15:10～15:40 消費者の視点から基本計画を考える  
生活協同組合コープみらい執行役員 山内 明子
- 15:40～16:10 基本計画をどう受け止めるか：国民に伝える立場から  
日本経済新聞経済部編集委員 吉田 忠則
- 16:10～16:25 休憩
- 16:25～17:25 総合討論 座長 生源寺 眞一
- 17:25～17:30 閉会あいさつ  
(公財)農学会理事、当シンポジウム企画委員長 三輪 睿太郎  
日本農学アカデミー副会長 佐々木 昭博

## <司会進行>

## 入場無料

## <お問い合わせ先>

日本農学アカデミー事務局 担当：末次  
〒106-0031 東京都港区西麻布 3-24-20 (公財)日本学術協力財団内  
TEL: 03-5410-0242 FAX: 03-5410-1822 E-Mail: jssf2@ab.auone-net.jp

公益財団法人農学会事務局 担当：黒住  
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内  
TEL: 03-5842-2210 FAX: 03-5842-2237 E-Mail: zaidan@nougakkai.or.jp